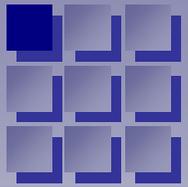


# 海上保安庁における海洋調査について

海上保安庁 海洋情報部



# 沿革

- 1871年(明治4年)兵部省水路局として発足

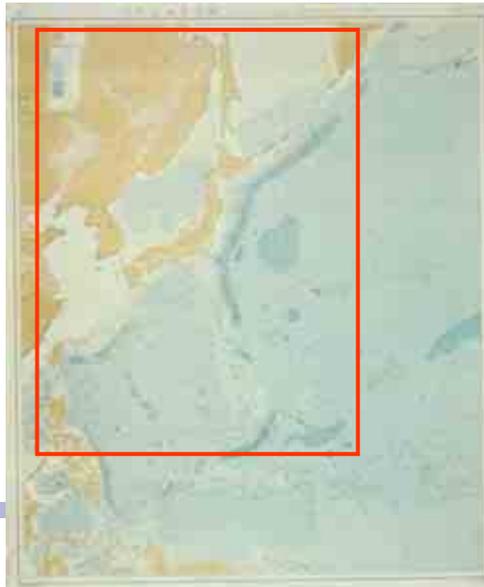
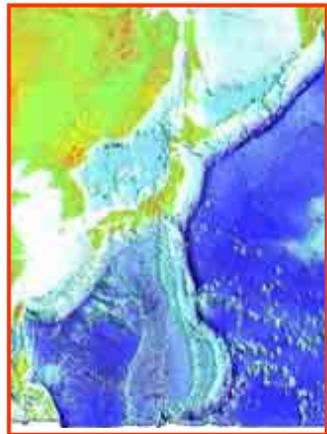


今の海洋情報部

今の築地市場



海図第1号(明治5年)  
「陸中國釜石港之圖」



- 1886年(明治19年) 海軍水路部
- 1948年(昭和23年) 海上保安庁水路部
- 2002年(平成14年) 海上保安庁海洋情報部

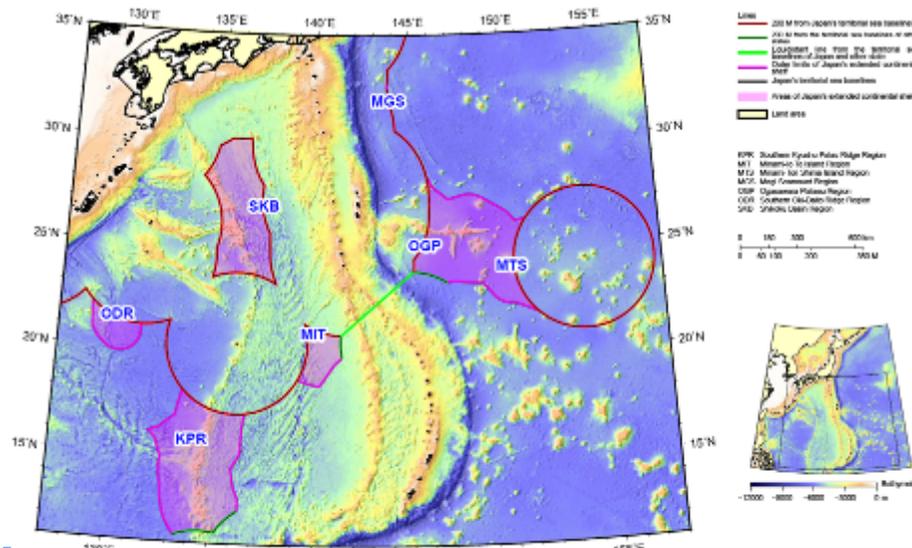
海のMapping Agency

「日本近海水深図」  
(1929年)

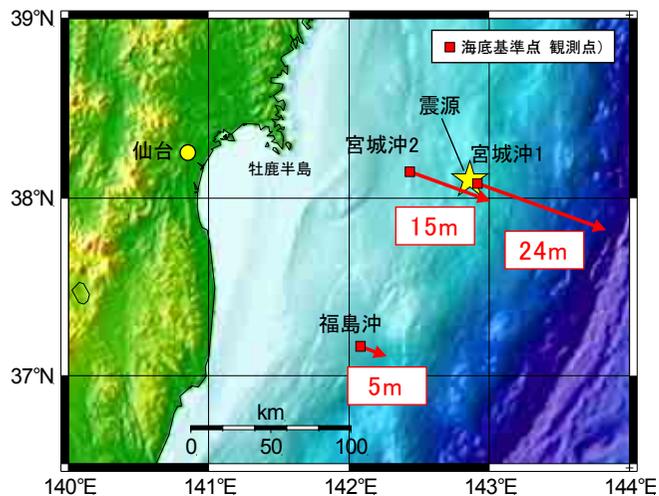
# 海上保安庁の海洋調査の目的



**航海安全:** 海図作成のための調査



**海洋権益確保:** 大陸棚調査、領海・EEZ調査



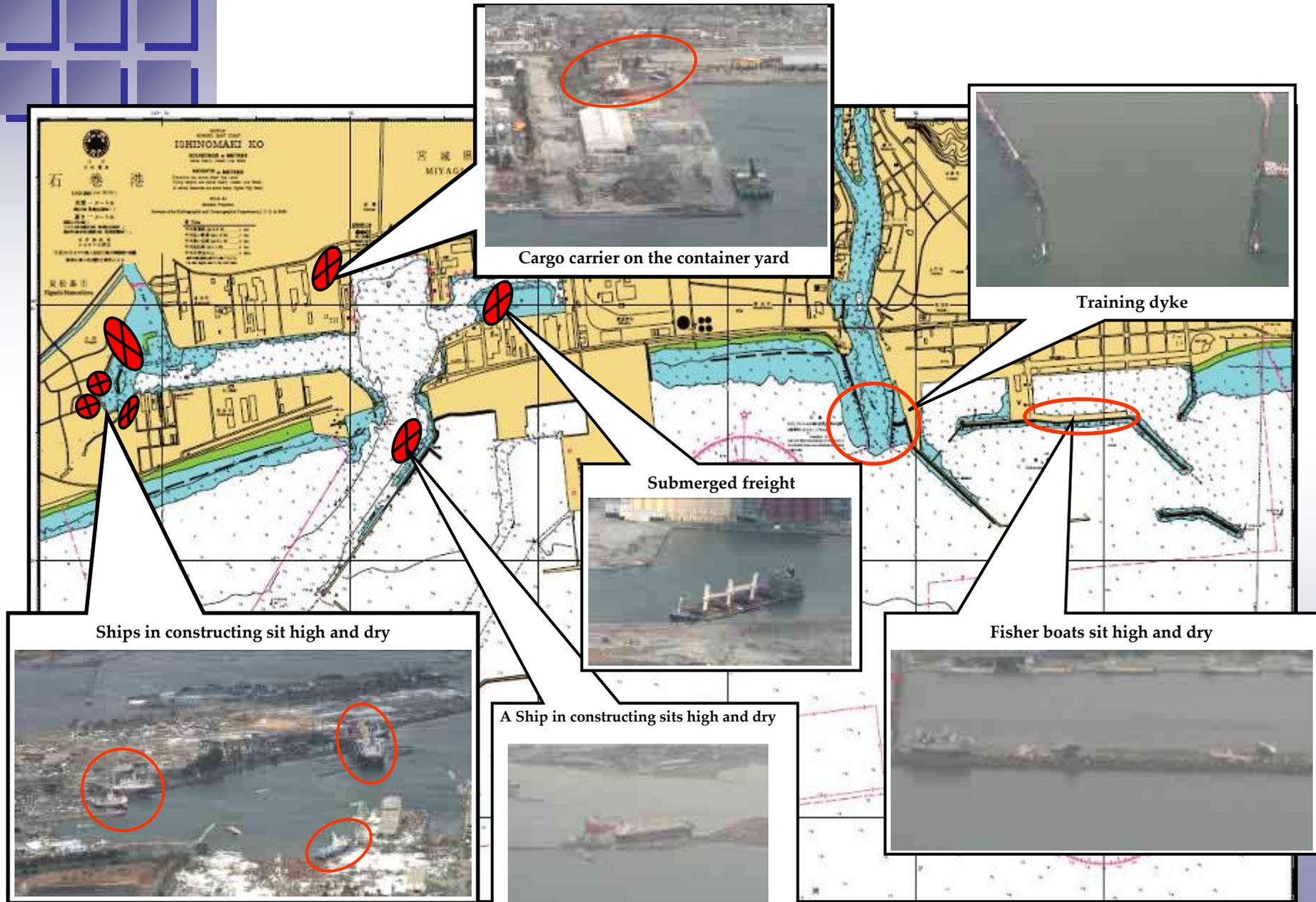
**防災:** 地震予知・火山噴火予知に必要な情報の整備



**環境保全:** 海洋汚染調査  
放射能調査

**海難救助:** 漂流予測に必要な  
海・潮流観測

# 東北地方太平洋沖地震津波により被災した港湾(石巻港)



# 大船渡港



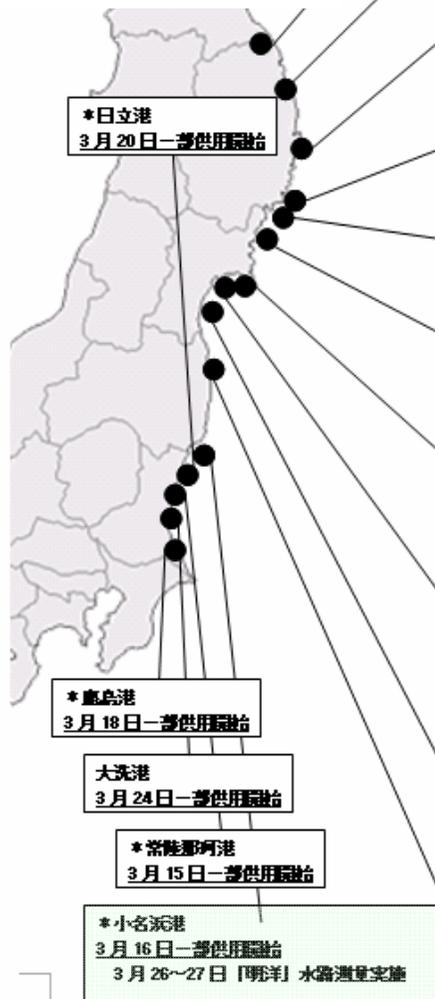
サイドスキャンソナーイメージ



# 緊急輸送路確保のための調査

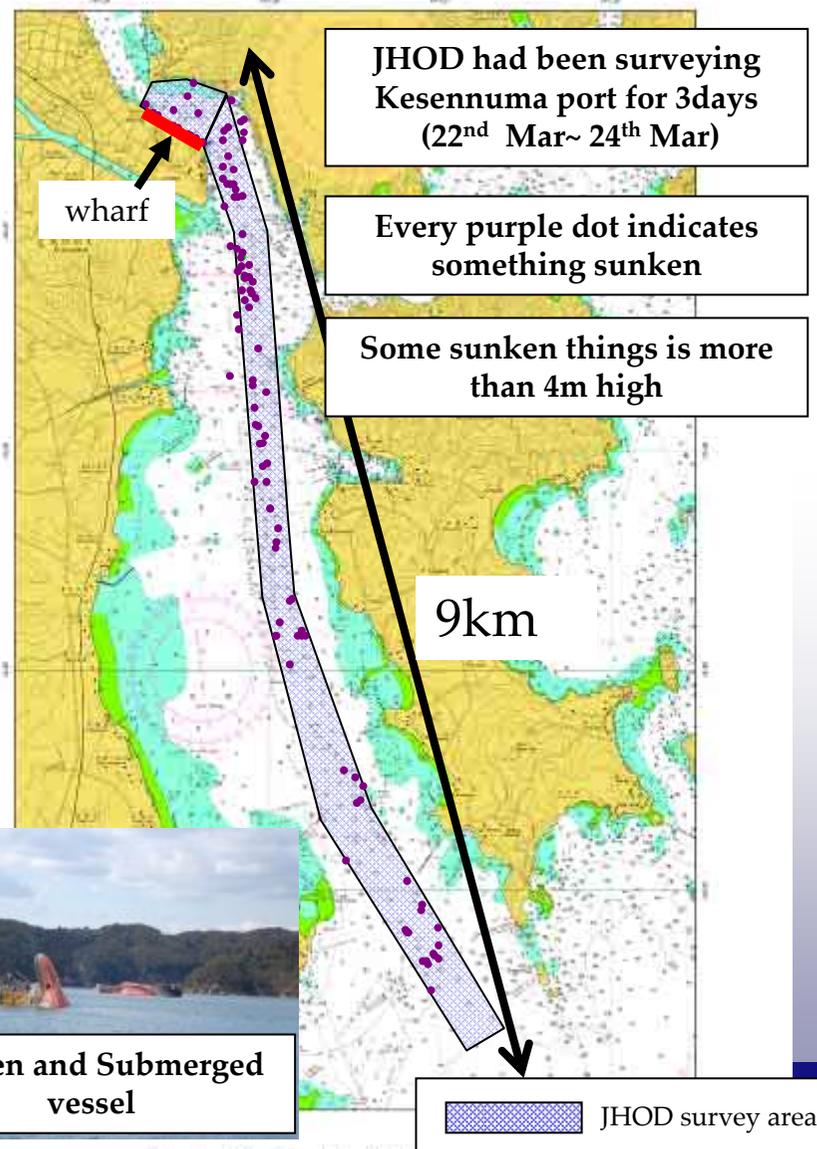
As of 19<sup>th</sup> April

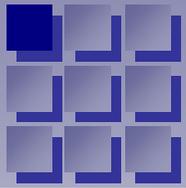
JHOD surveyed 11 port since the disaster



- \*八戸港  
3月19日一部供用開始  
3月16~18日「昭洋」水露測量実施
- \*久慈港  
3月20日一部供用開始  
3月19日「昭洋」水露測量実施
- 宮古港  
3月17日一部供用開始  
3月15~16日「天洋」水露測量実施  
4月15~16日「昭洋」水露測量実施
- \*釜石港  
3月15日一部供用開始  
3月14~15日「海洋」水露測量実施  
4月9日~14日「昭洋」水露測量実施
- \*大船渡港  
3月22日一部供用開始  
3月20~22日「昭洋」水露測量実施
- \*気仙沼港(地方港気)  
3月26日一部供用開始  
3月22~23日「拓洋」水露測量実施  
3月23~24日「昭洋」水露測量実施
- \*石巻港  
3月23日一部供用開始  
3月23~24日「天洋」水露測量実施  
4月18日「天洋」水露測量実施
- \*仙台塩釜港(塩釜区)  
3月21日一部供用開始(-A.9m喫水制限)  
3月17日「しまかせ」港湾調査実施  
3月17日「拓洋」「海洋」水露測量実施  
3月18~21日「拓洋」水露測量実施  
3月25日喫水制限解除  
4月15~17日「天洋」水露測量実施
- \*仙台塩釜港(仙台区)  
3月18日一部供用開始  
3月15日「明洋」水露測量実施  
3月16日「明洋」「拓洋」水露測量実施  
3月17日「明洋」水露測量実施  
4月3~5日「海洋」水露測量  
4月9日~11日「明洋」水露測量実施
- 相馬港  
3月19日一部供用開始  
3月25日「天洋」水露測量実施
- \*は岸壁の追加供用のあった港

## 気仙沼港





# 海上保安庁の海洋調査勢力



総トン数: 約 3,000 トン  
主要寸法 (全長×巾×深): 98.0×15.2×7.8m  
航続距離: 約 12,000 海里

拓洋



総トン数: 約 2,600 トン  
主要寸法: 96.0×14.2×7.3m  
航続距離: 約 12,000 海里

昭洋



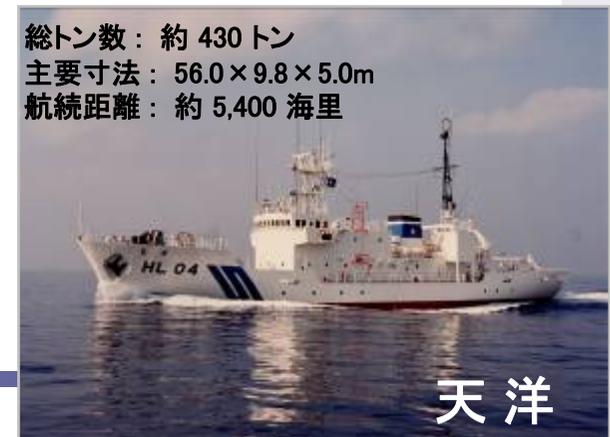
総トン数: 約 550 トン  
主要寸法: 60.0×10.5×5.0m  
航続距離: 約 5,000 海里

明洋



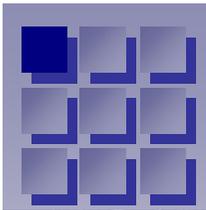
総トン数: 約 550 トン  
主要寸法: 60.0×10.5×5.0m  
航続距離: 約 5,000 海里

海洋

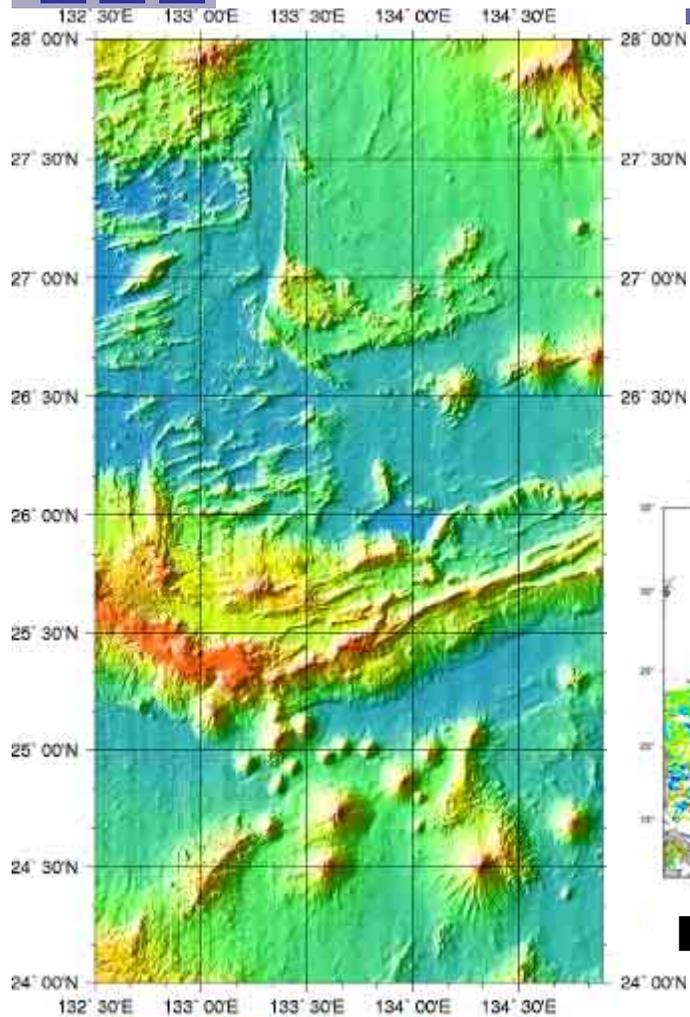


総トン数: 約 430 トン  
主要寸法: 56.0×9.8×5.0m  
航続距離: 約 5,400 海里

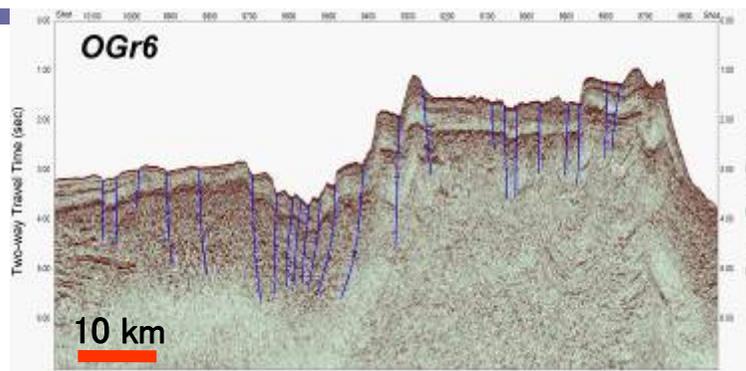
天洋



# 海上保安庁の調査項目



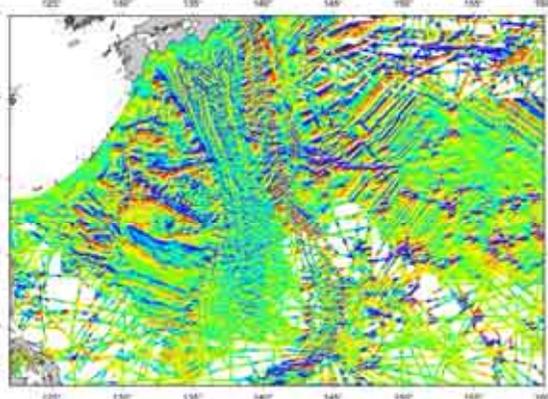
■ 海底地形



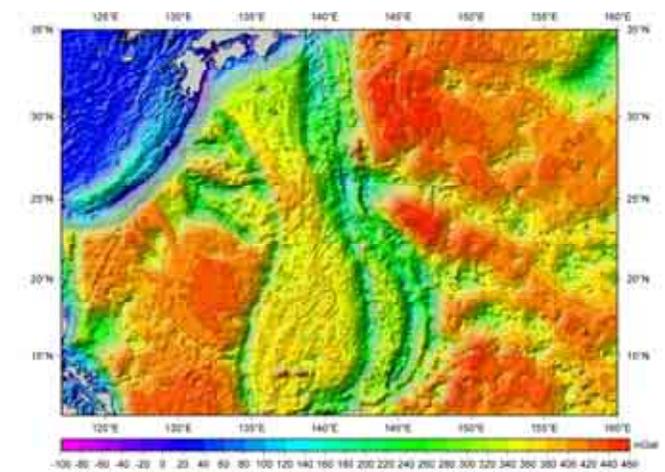
■ 地質構造



■ 測地



■ 地磁気

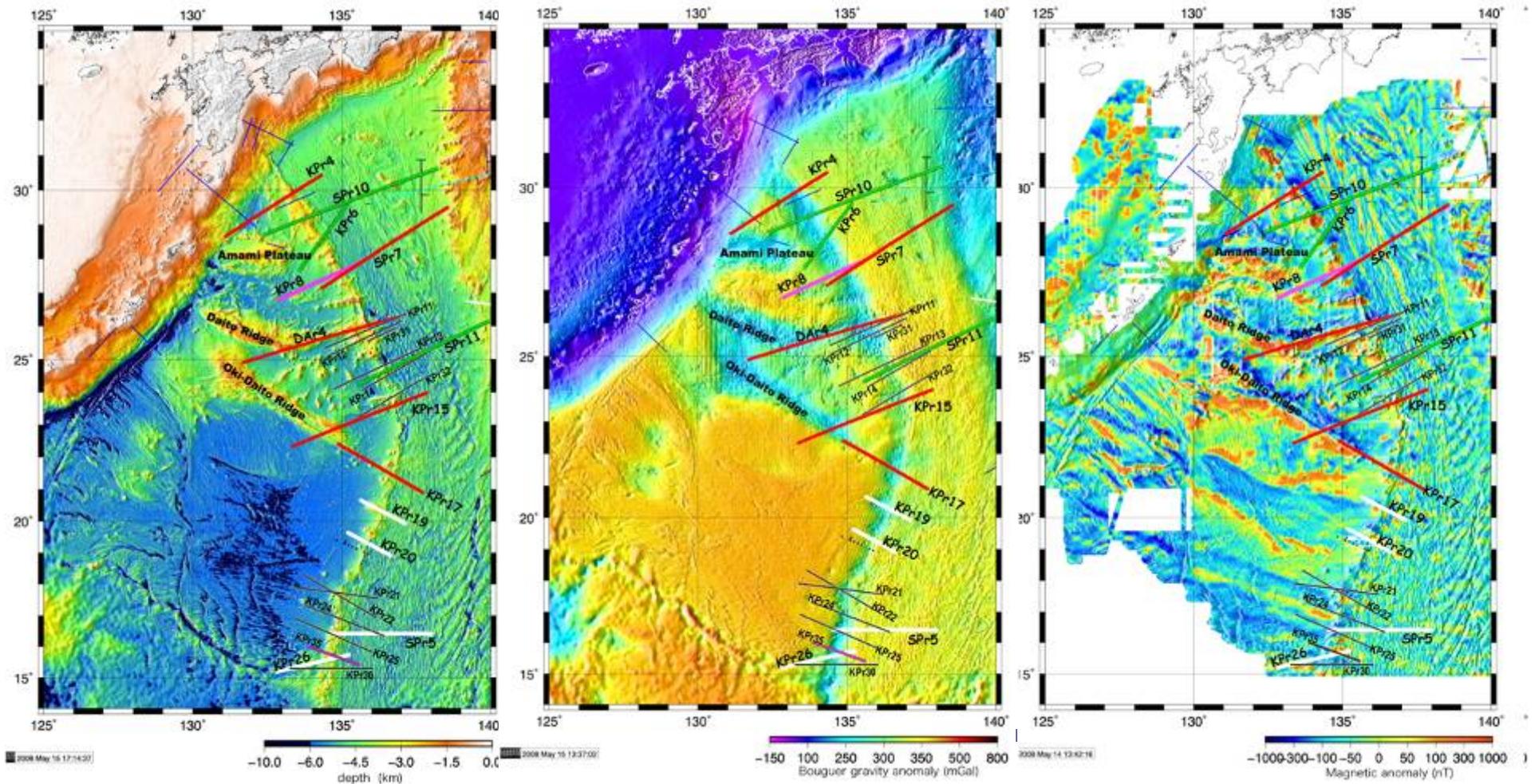


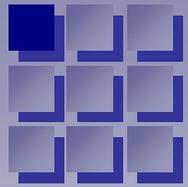
■ 重力

■ 水温・海潮流・化学分析等...

# 海上保安庁の調査の特徴

海上保安庁は**長期的**・**広域的**・**計画的**・**均質な**調査、又最先端の機器を使用した調査により地形・地質等、地球物理学的マッピングにより貢献が可能





# 大陸棚調査

S58年～H20年

## 大陸棚の限界の申請

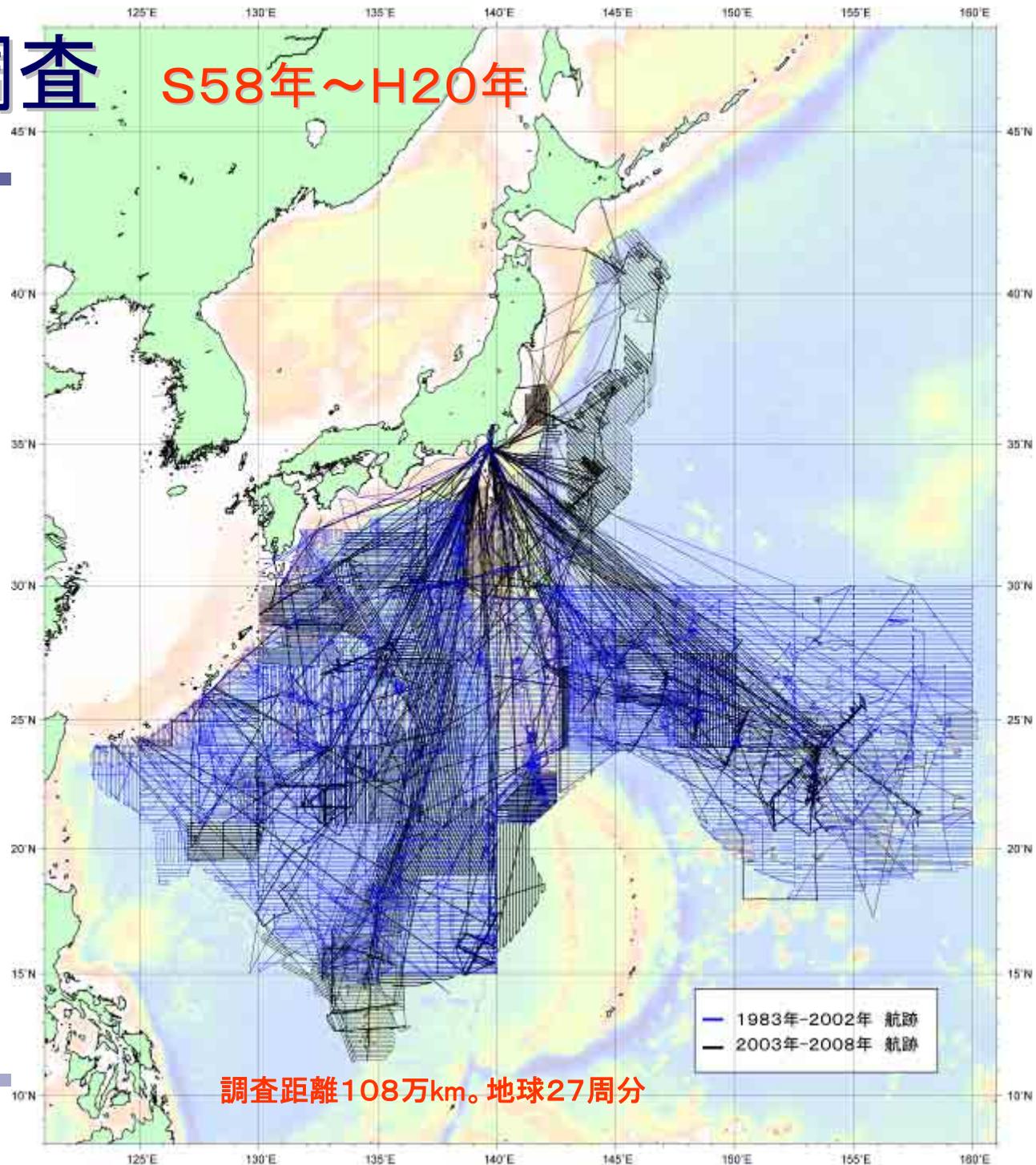
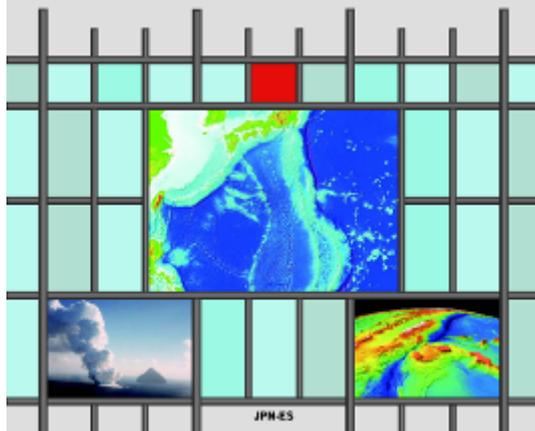
平成20年11月12日

「大陸棚限界委員会」へ提出

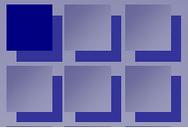
### Japan's Submission to the Commission on the Limits of the Continental Shelf

pursuant to Article 76, paragraph 8  
of the United Nations Convention on the Law of the Sea

#### EXECUTIVE SUMMARY

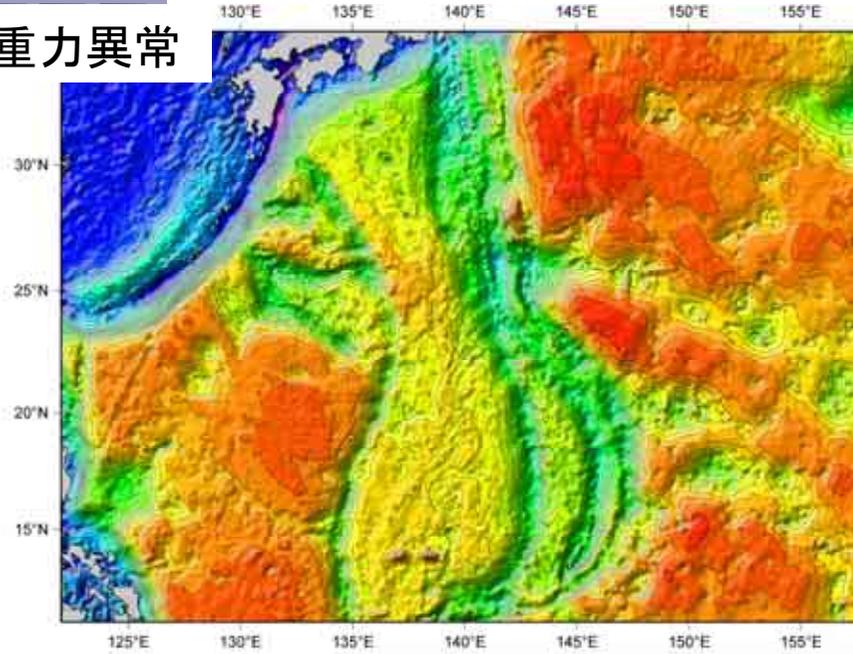


調査距離108万km。地球27周分

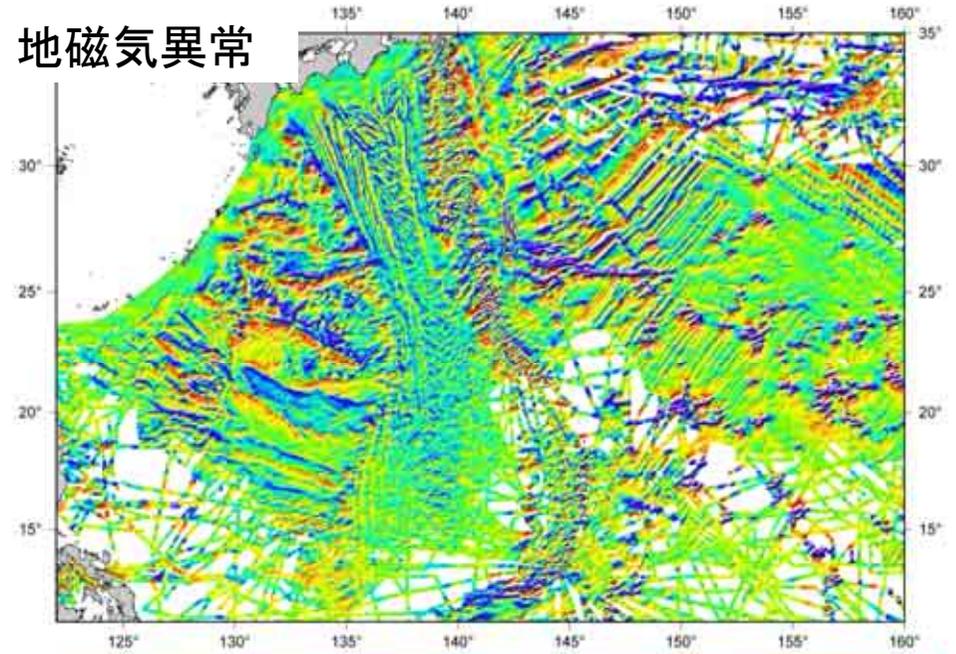


# 大陸棚調査の成果 海上保安庁

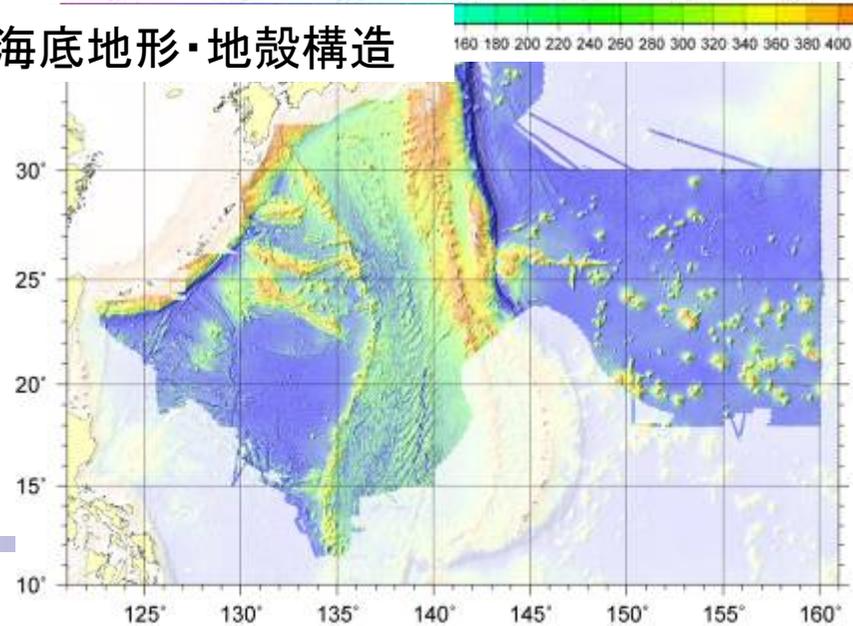
重力異常



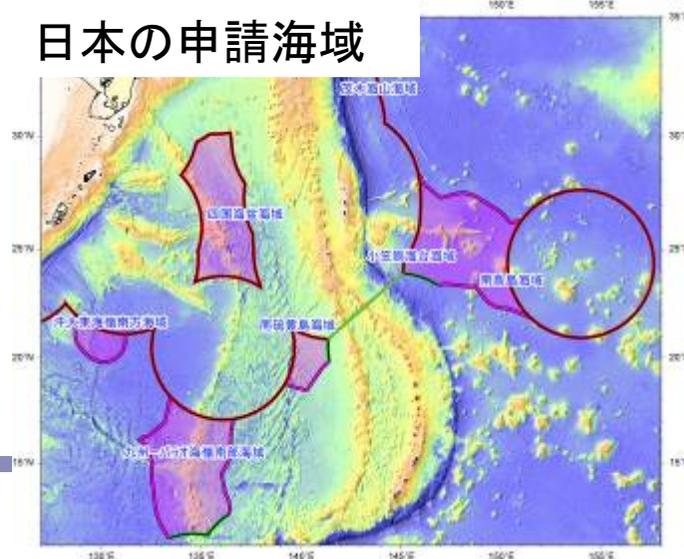
地磁気異常



海底地形・地殻構造



日本の申請海域



# 大陸棚調査での府省連携



地殻構造探査  
(JAMSTEC)

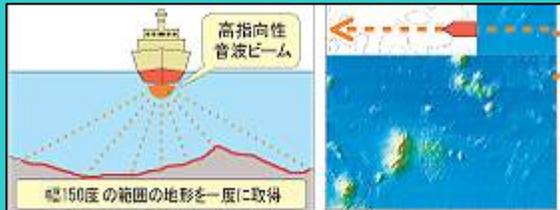


文部科学省

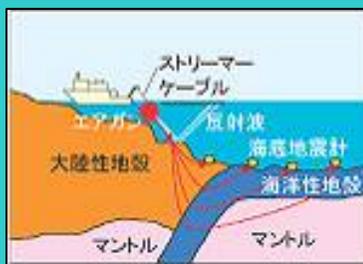
海上保安庁

総合調整：内閣官房

精密海底地形調査



地殻構造探査



経済産業省

基盤岩採取(産総研・JOGMEC)



出典：JOGMECホームページ

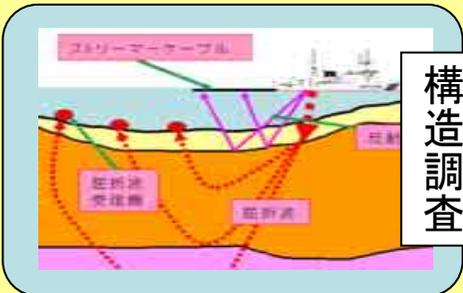
# 領海・EEZ調査

H20年～

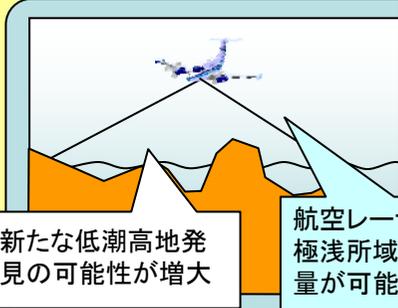
## 海洋調査の推進



海底地形調査



海底地殻構造調査



領海基線調査

新たな低潮高地発見の可能性が増大

航空レーザー測深機  
極浅所域での水深測量が可能

海洋に関する基盤的情報の整備

## 調査成果の効果

海洋権益の保全

- 領土・領海・EEZの保全

海洋の開発・利用・保全等

- 海洋の安全の確保
- 海洋環境の保全
- 海洋資源開発

新たな海洋立国の実現

- 海上保安庁は、長期的・広域的な海洋調査により  
海底の地球物理学的マッピングを実施
- 今後も最新の調査機器を活用して  
より詳細な海底地形を把握
- 取得したデータは、海洋の開発・利用・保全に貢献



“うみまる”

ご静聴ありがとうございました



“うーみん”